

令和 7 年度鉱山保安標語について

- 当部では、平成26年度より鉱山保安標語の募集・選定を行っており、今年度は178作品もの多数の御応募をいただいた。
- 御応募作品は審査の結果、下記の作品を入選作として選定し、当部ホームページにて発表している。

保安標語 入選 8 作品

(部門別、五十音順、敬称略)

- ゼロ災害 目標ではなく 日常に
(訓子府鉱山 訓子府石灰工業株式会社 石神 圭祐)
- 危険個所 手を出す前に 声に出す
(鹿越鉱山 金山礦産株式会社 菊田 隆治)
- 慣れと油断が命取り 正しい手順でゼロ災害
(空知新炭鉱 空知炭礦株式会社 進藤 純一)
- 誰かが見たはずやったはず。 私がやります安全確認。
(空知新炭鉱 明円工業株式会社 高貝 彩)
- 迷った時こそ落ち着いて 機械を止めて安全作業
(東鹿越鉱山 日鉄鉱業株式会社 竹内 良典)
- 単純作業にも危険が潜む 手順を守って0災害
(峩朗鉱山 北斗鉱産株式会社 萩原 英也)
- 行動前に一呼吸 家族の為に無災害
(峩朗鉱山 北海道太平洋鉱業株式会社 伊藤 瑠花)
- 怪我をしないで帰るのも 大事な仕事の一つです
(峩朗鉱山 北斗鉱産株式会社 萩原 知子)



保安標語を鉱山・炭鉱に配布し、事務所・休憩所等の目に付く場所に掲示することで保安意識の向上を図っている。